

平成30年度上武大学 大学院経営管理研究科 シラバス

|                                |  |                              |  |   |                        |     |    |
|--------------------------------|--|------------------------------|--|---|------------------------|-----|----|
| 講義番号                           | 授業科目名  | 国際取引法特論A                     |  | 担当教員  | 吉田 一康                  |     |    |
|                                | 英語授業科目名  | International Business Law A |  | 単 位   | 2                      | 学 期 | 前期 |
| 対象年次                           | 1・2年次  | クラス指定                        |  | 他との関連   |                        |     |    |
| 履修条件                           | 法律と英語の基礎的な知識を有し、法律英語に興味があることが望ましい。   |                              |  |   |                        |     |    |
| テーマ・副題                         | 英文契約書の理解   |                              |  |   |                        |     |    |
| 授業の教育目的・目標                     | (1) 国際取引法の概略の理解<br>(2) 英文輸出入契約書の理解   |                              |  |   |                        |     |    |
| 授業の理解度の到達目標                    | (1) 英文輸出入契約書の内容を理解できること。<br>(2) 国際取引紛争が発生した場合、紛争解決地及び紛争解決方法、紛争についての準拠法を予測できること。  |                              |  |   |                        |     |    |
| 授業キーワード                        | 国際取引法、国際商事仲裁法、国際私法   |                              |  |   |                        |     |    |
| 授業の内容                          | 国際取引法の概略を説明するとともに、今後、益々重要性が増してくると考えられる英文契約書を理解するために、英文輸出入契約書を教材として分かり易く解説します。  |                              |  |   |                        |     |    |
| 授業の方法                          | (1) 50～60分 レジюмеを使用した講義<br>(2) 30～40分 練習問題、質問、討議   |                              |  |   |                        |     |    |
| 授業展開                           | (1) 講義紹介<br>講義内容・成績評価等について説明します。<br>(2) 国際取引法の定義<br>「国際取引法」とは何かということを確認し、国際取引法に関する国際機関について説明します。<br>(3) 法意識<br>商行為については、法意識が高くない人々が世界では多数ですので、法意識に関する理論について説明します。<br>(4) 国際裁判管轄<br>日本の裁判所が、国際的な事件について裁判を行う権限の有無を判断する基準について説明します。<br>(5) 国際商事仲裁<br>国際取引紛争の主たる解決方法である仲裁について説明します。<br>(6) 国際私法①<br>国際取引契約の当事者に関して適用される法律等の決定方法等について説明します。<br>(7) 国際私法②<br>国際取引契約に適用される法律等の決定方法について説明します。<br>(8) 法律英語<br>特に裁判などで使用される法律英語について、実務から理解します。 |                              |  | (9) 輸出通関<br>日本から商品を輸出する場合の輸出通関の仕組みについて説明します。<br>(10) 輸入通関<br>日本に商品を輸入する場合の輸入通関の仕組みについて説明します。<br>(11) インコタームズ<br>国際取引に使用されている定型取引条件について説明します。<br>(12) 荷為替信用状決済<br>国際取引の典型的な決済方法である荷為替信用状決済の仕組みについて説明します。<br>(13) 国際取引契約の締結まで<br>事前調査から国際取引契約の締結までの法的問題及び各国の習慣等について説明します。<br>(14) 英文輸出入契約書①<br>典型的な英文輸出入契約書の前半部分の「インコタームズ」や「支払方法」等の基本事項について説明します。<br>(15) 英文輸出入契約書②<br>典型的な英文輸出入契約書の後半部分の「準拠法」や「紛争解決」等の基本事項について説明します。 |                        |     |    |
| 成績評価方法                         | (1) 積極性 30～40%<br>(2) 筆記試験 60～70%  |                              |  |   |                        |     |    |
| 成績評価基準                         | A 80%以上 B 70～79% C 60～69% D 59%以下 (不合格)  |                              |  |   |                        |     |    |
| テキスト                           | 毎回、レジюмеと練習問題を配布し、テキストは特に使用しません。   |                              |  |   |                        |     |    |
| 参考図書                           | 佐野寛「国際取引法」(第4版)有斐閣 2014年(2500円+税)<br>岩崎一生「英文契約書」同文館 2001年(2800円+税)   |                              |  |   |                        |     |    |
| 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容 | (1) 各講義の内容に関する参考図書の該当箇所を読むこと(1時間程度)。<br>(2) 各講義の内容に関するニュースを、新聞やインターネットなどで見た場合は、読んで概要を説明できるようにすること。   |                              |  |   |                        |     |    |
| 学生へのメッセージ                      | 元気があれば何でもできる!  |                              |  |   |                        |     |    |
| オフィスアワー                        | 毎週、講義日は、新町キャンパス(講義室、講師控室など)にあります。  |                              |  |   |                        |     |    |
| 連絡先                            | 電話番号   | 0270-32-1011(代)802号(伊勢崎)     |  | メールアドレス:  | yoshidai@ic.jobu.ac.jp |     |    |
| 人数制限                           | なし   |                              |  |   |                        |     |    |